

Supply infrastructure/
environment-related items
required in social activities



コンドーテック株式会社

決算説明資料

平成30年2月8日

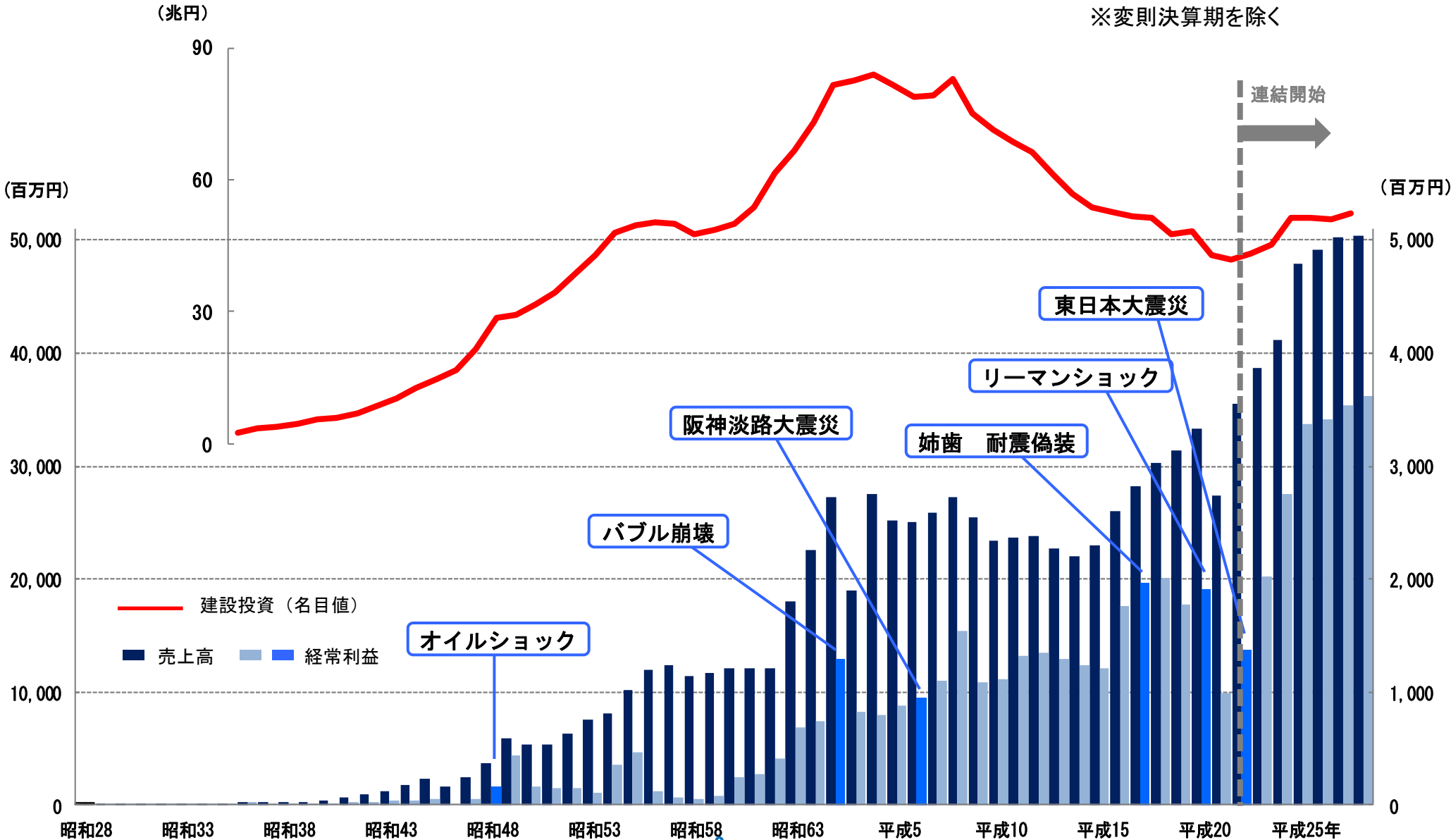
■ 目次 ■

1. 当社の概要	P.2
2. 主要製・商品	P.10
3. 平成30年3月期第3四半期の実績と分析	P.15
4. 平成30年3月期第3四半期の各セグメントの実績と分析	P.20
5. 成長戦略	P.28
6. 株主還元	P.38
7. ご参考 ～業績ハイライト～	P.41

1.当社の概要

昭和28年設立以来、経常利益ベースでの赤字は、一度もありません。

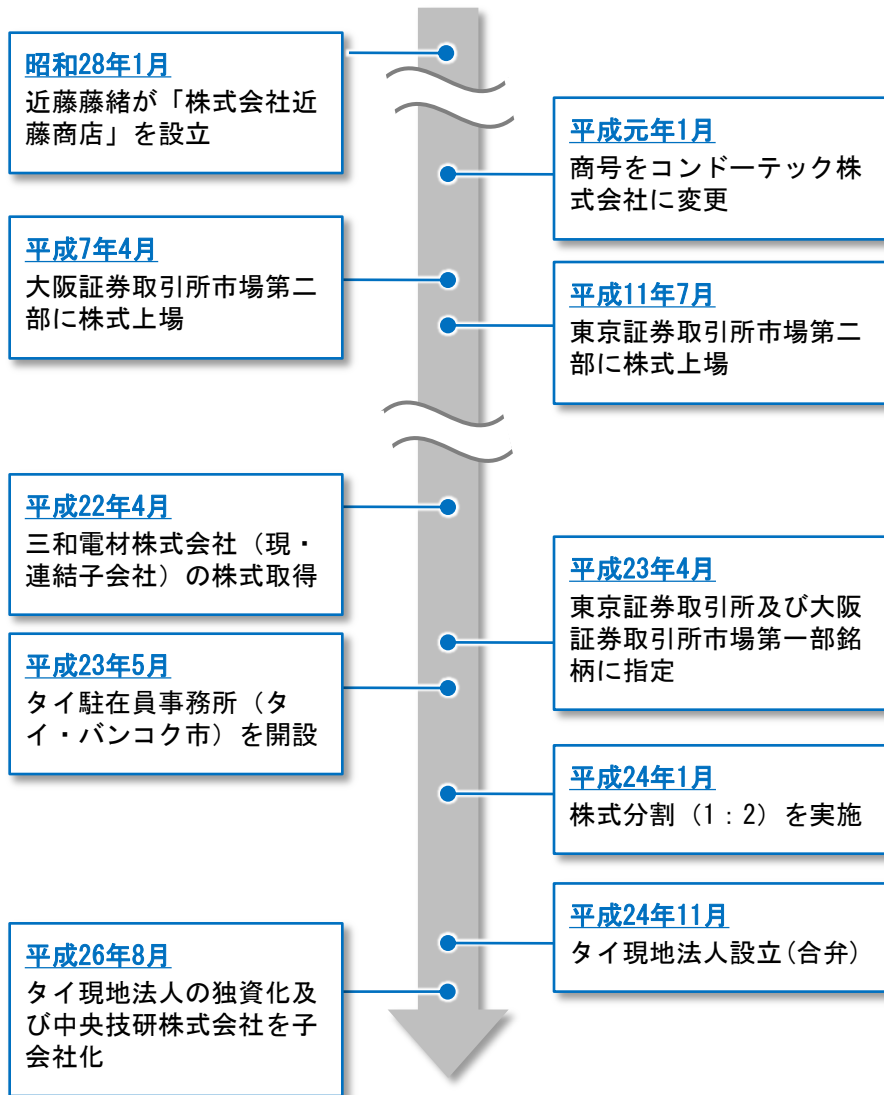
※変則決算期を除く



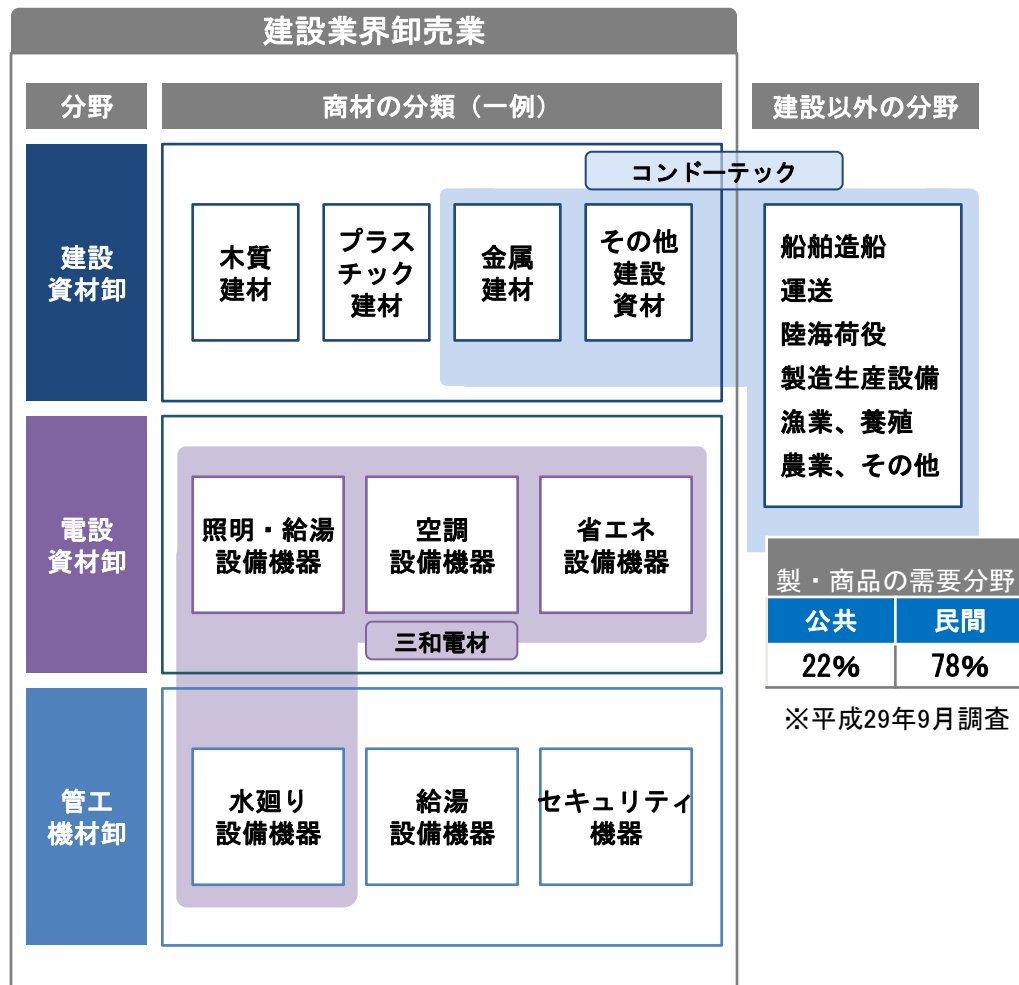
当社の概要

商号	コンドーテック株式会社 (KONDOTEC INC.)
グループ会社	三和電材株式会社、KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.、中央技研株式会社
設立	昭和28年(1953年)1月
代表取締役社長	近藤 勝彦
本社	本社：大阪市西区境川二丁目2番90号 東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号 (注)平成25年7月1日より「東京本社」を設置し、大阪との二本社制となっております。
従業員	623名(単体)767名(連結)(平成29年3月末現在)
資本金	26億6,648万5千円
上場区分	東証1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> □ 金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入販売 □ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入販売 □ 電気工事業者や家電小売店向けに、電設資材を仕入販売
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"> □ 製品 ターンバックル、ブレース、足場吊りチェーン、ねじ製品、アンカーボルト、建設資材、機械装置他 □ 商品 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、照明器具、分電盤、空調機器、エコ商品他

会社設立沿革



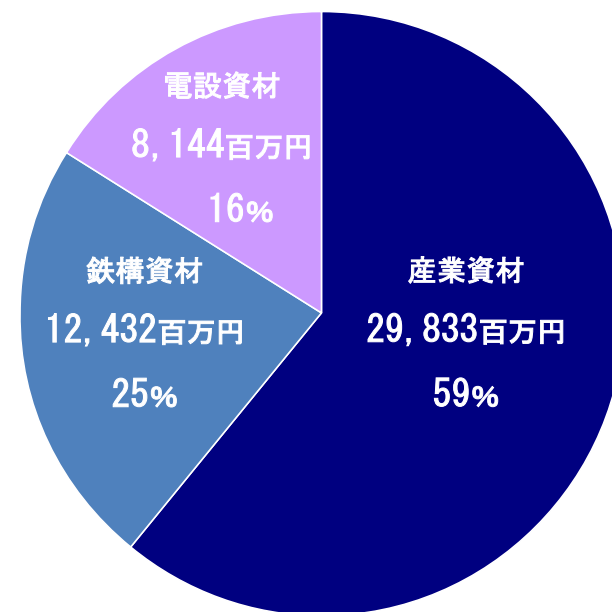
事業ドメイン



事業別売上構成

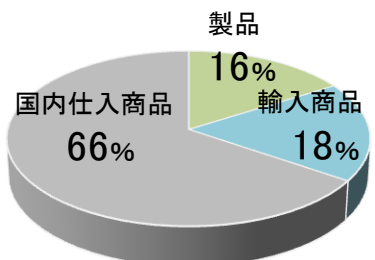
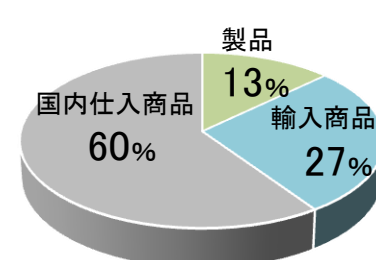
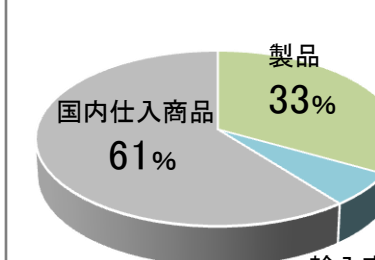
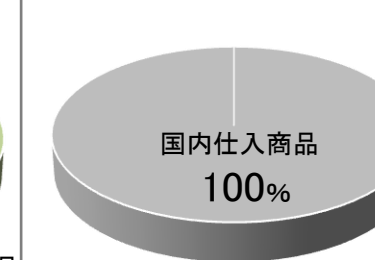
セグメント区分	主な販売先	主な製商品
産業資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 金物屋 □ 問屋 □ ホームセンター等 	<ul style="list-style-type: none"> □ ターンバックル □ シャックル □ 足場吊りチェーン □ フック、クリップ □ 各種鋏螺（ねじ、釘） □ コンテナバッグ □ ブルーシート □ 機械装置 他
鉄構資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 鉄骨加工業者 	<ul style="list-style-type: none"> □ ターンバックルブレース □ アンカーボルト □ ハイテンションボルト □ 自立コンピース □ コンデッキバー □ セラミックスタブ 他
電設資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 電気工事業者 □ 家電小売店 	<ul style="list-style-type: none"> □ 空調機器（エアコン、換気扇、ダクトファン） □ 照明器具（LED照明、住宅照明器具他） □ エコ商品（太陽光発電、エコキュート） □ 電線、分電盤、制御盤、各種センサー他

セグメント別売上高（平成29年3月期）

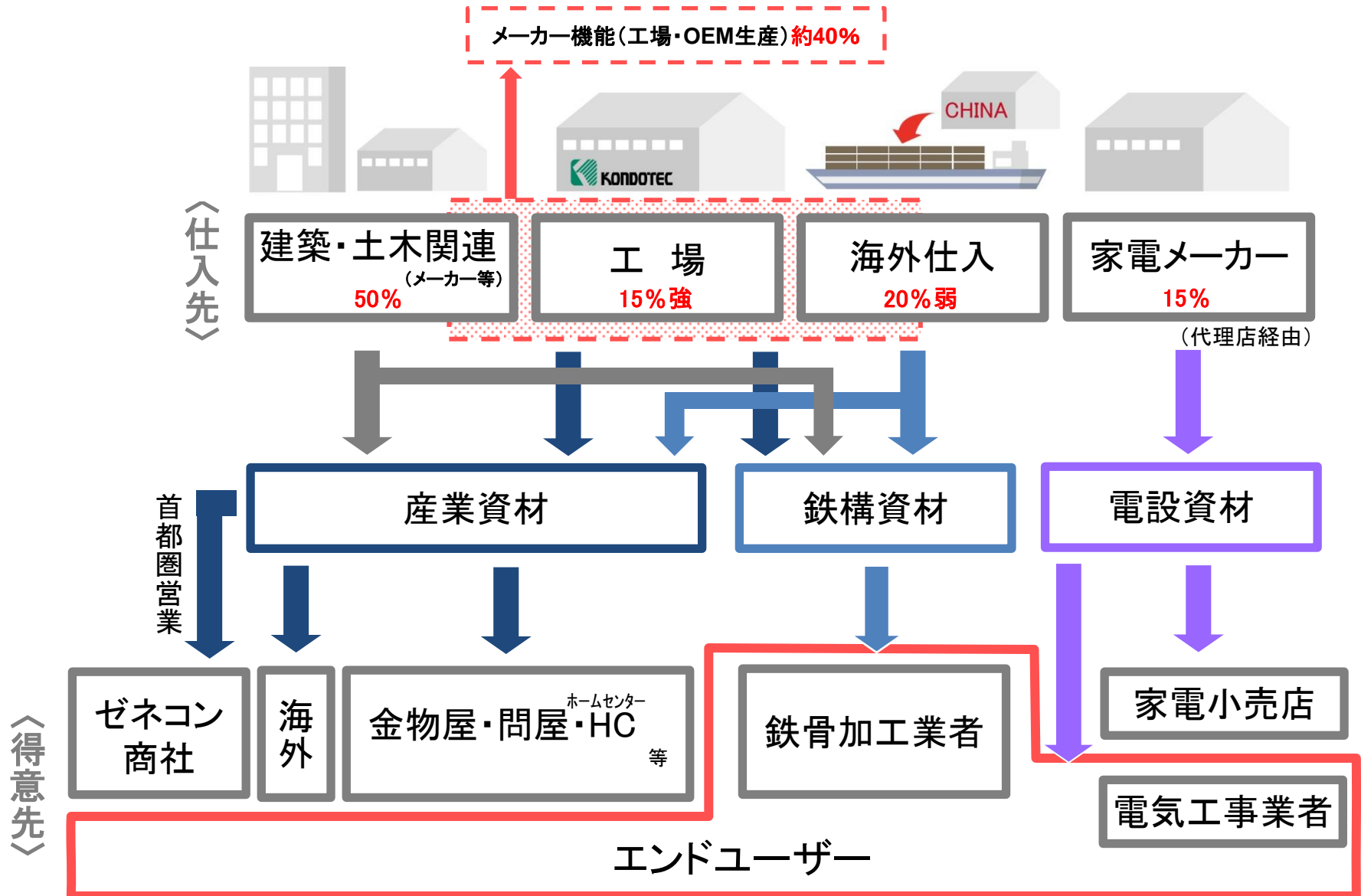


単体の売上高は、全体の**84%**を占めております。

(平成29年3月時点)

		連結	産業資材	鉄構資材	電設資材
売上高		50,410百万円	29,833百万円	12,432百万円	8,144百万円
					
		※円グラフにタイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。			
営業拠点数		59拠点	29拠点	16拠点	14拠点
アイテム数		約50,000点	約40,000点		約10,000点
従業員数		767人	257人	93人	125人
販売先数		約22,000社	約14,000社	約4,000社	約4,000社
開新 拓規	件数	2,707件	1,660件	659件	388件
	売上高	2,943百万円	1,535百万円	744百万円	663百万円

※売上高を除いた項目には、タイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。



(平成29年3月時点)

主要商材の市場規模と当社シェア

ブレース
市場規模
約100億円
32.4%

型枠関連資材
市場規模
約1,400億円
1.2%

Zマーク金物
市場規模
約450億円
3.1%

アンカーボルト
市場規模
約140億円
15.8%

ハイテンション
ボルト
市場規模
約180億円
13.1%

溶接ワイヤ
市場規模
約110億円
7.4%

コンテナバッグ等
(数量ベース)
4.1%

その他、ターンバックル、
足場吊りチェーン、シャックル、
ワイヤロープ、ネット・シート類など、
多くの商材を販売しております。

2.主要製・商品

取扱いアイテムは5万点。時代の変化・ニーズに合わせ、さまざまな業界に供給しています。



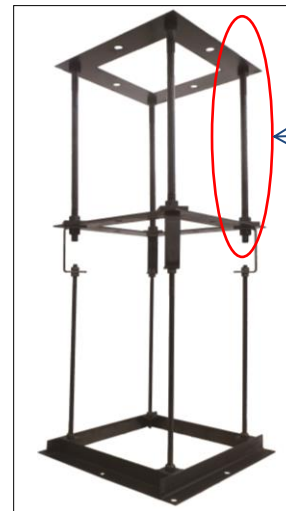
筋交いの「ターンバックルブレース」を取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の倒壊を回避する役割があります。



アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材です。基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。



施工後



アンカーボルト



アンカーフレーム (コンベース・エコ)

当社のコンテナバッグは、がれき処理・除染作業でも使用されています。重機によって、がれき・除染土がコンテナバッグに収納され、仮置き場へ搬入されます。

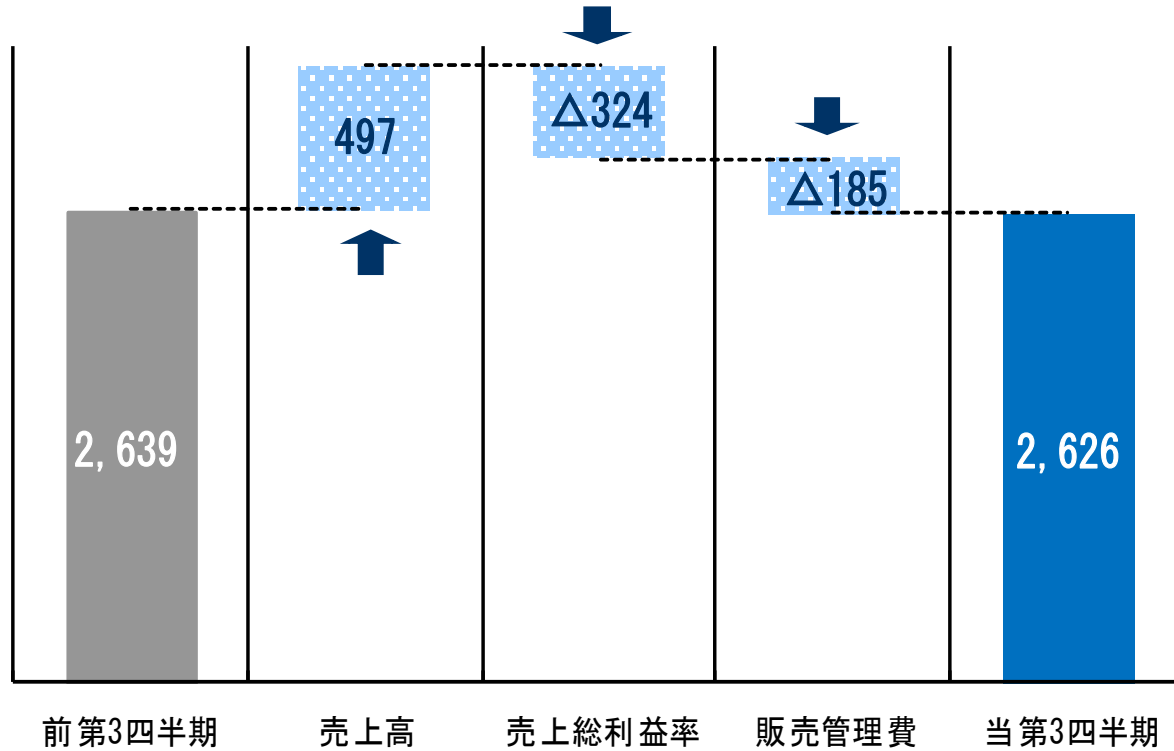


3.平成30年3月期第3四半期の実績と分析

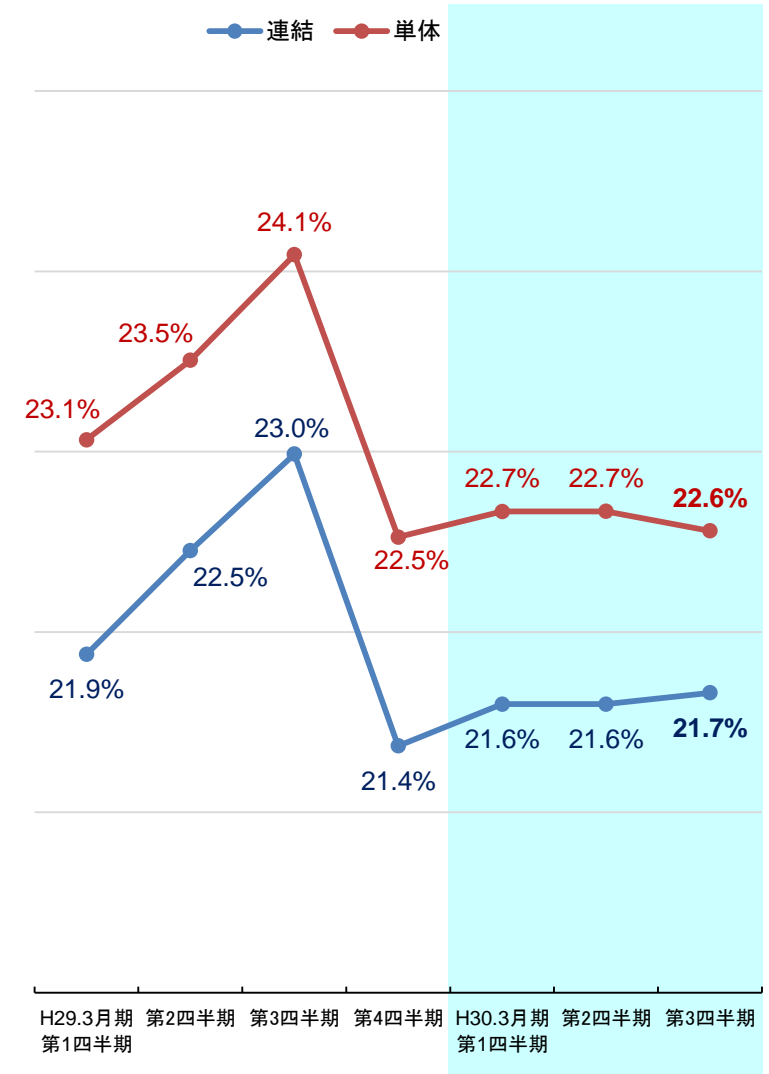
(単位:百万円)

	前第3四半期 (平成29年3月期)	当第3四半期 (平成30年3月期)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	37,486	39,703	+2,216	+5.9%
売上総利益	8,418	8,591	+173	+2.1%
販売管理費	5,779	5,965	+185	+3.2%
営業利益	2,639	2,626	△12	△0.5%
経常利益	2,714	2,690	△24	△0.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,830	1,799	△30	△1.7%

(単位：百万円)



売上総利益率の四半期別推移



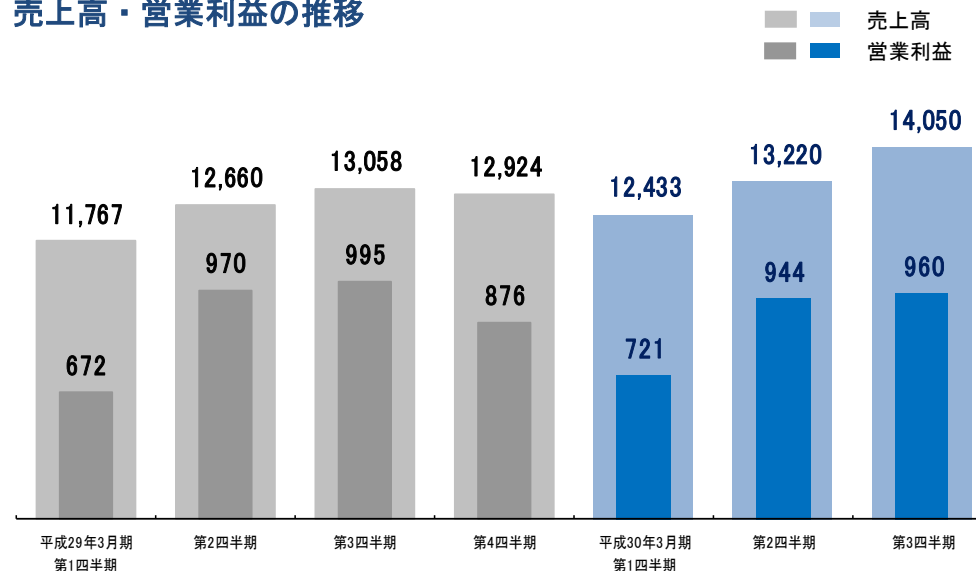
売上総利益率 22.5%→21.6%

販売管理費 運賃荷造費 +87百万円、給与 +41百万円、
修繕費 +13百万円、販売促進引当金繰入額 +9百万円

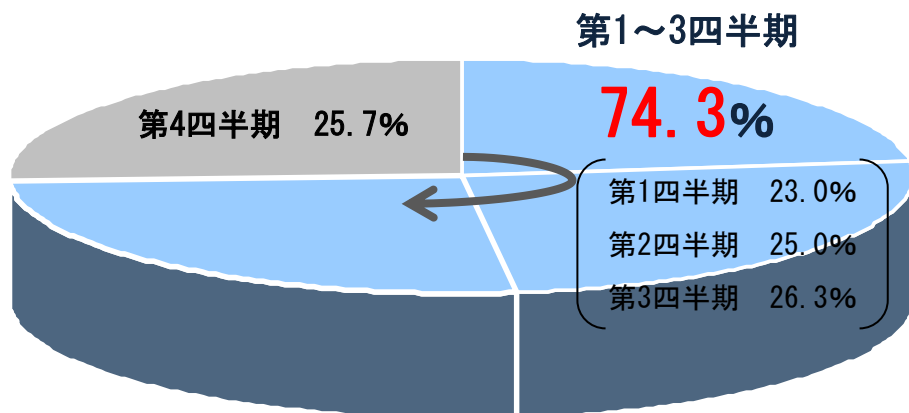
(単位:百万円)

	当第3四半期	通期計画	進捗率
売上高	39,703	52,550	75.6%
売上総利益	8,591	11,692	73.5%
販売管理費	5,965	8,080	73.8%
営業利益	2,626	3,611	72.7%
経常利益	2,690	3,719	72.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,799	2,524	71.3%

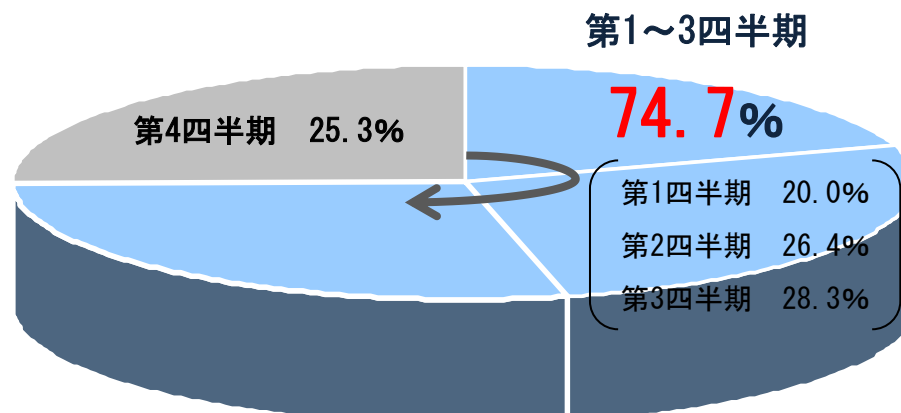
売上高・営業利益の推移



四半期別売上高構成比 (過去5年平均)



四半期別営業利益構成比 (過去5年平均)



(単位:百万円)

	前期末	当第3四半期末	増減
資産の部			
流動資産	26,191	27,817	+1,625
固定資産	10,333	10,381	+47
資産合計	36,524	38,198	+1,673
負債の部			
流動負債	12,329	12,716	+386
固定負債	1,475	1,455	△20
負債合計	13,805	14,171	+366
純資産の部			
株主資本	24,092	25,198	+1,105
その他の包括利益累計額	△1,423	△1,225	+198
純資産合計	22,719	24,026	+1,306
負債・純資産合計	36,524	38,198	+1,673

増減要因**資産の部****【流動資産】**

- ・現預金…+250百万円
- ・受取手形及び売掛金…+837百万円
- ・電子記録債権…+357百万円
- ・棚卸資産…+308百万円

負債の部**【流動負債】**

- ・支払手形及び買掛金…△123百万円
- ・電子記録債務…+905百万円
- ・未払法人税等…△317百万円

純資産の部**【株主資本】**

- ・繰越利益剰余金…+1,170百万円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益により1,799百万円増加、配当により630百万円減少

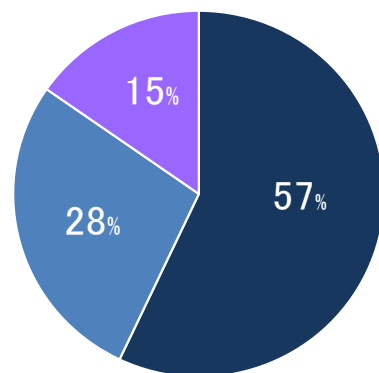
4.平成30年3月期第3四半期の各セグメントの実績と分析

(単位：百万円)

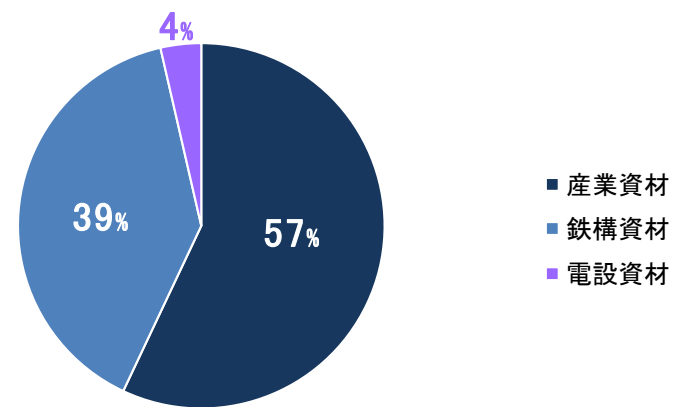
	売上高			セグメント利益又は損失		
	前第3四半期	当第3四半期	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減率
産業資材	22,138	22,655	+2.3%	1,719	1,497	△12.9%
鉄構資材	9,400	10,989	+16.9%	804	1,035	+28.7%
電設資材	5,947	6,058	+1.9%	116	94	△19.2%
調整	—	—	—	△1	△0	—
計	37,486	39,703	+5.9%	2,639	2,626	△0.5%

※セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別売上割合



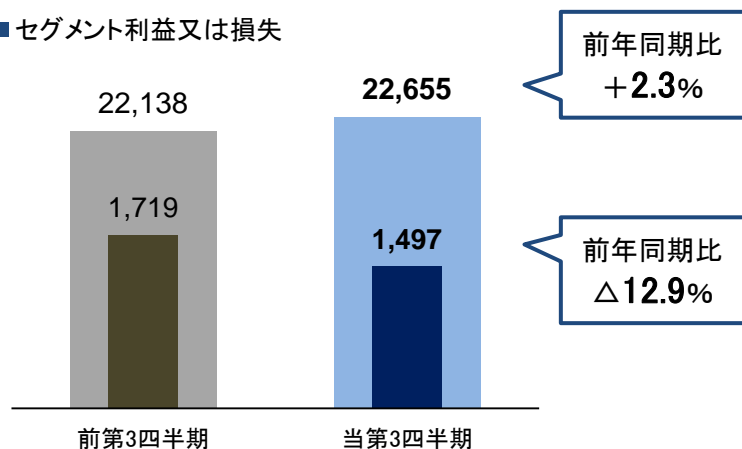
セグメント別利益割合



売上高・セグメント利益又は損失推移

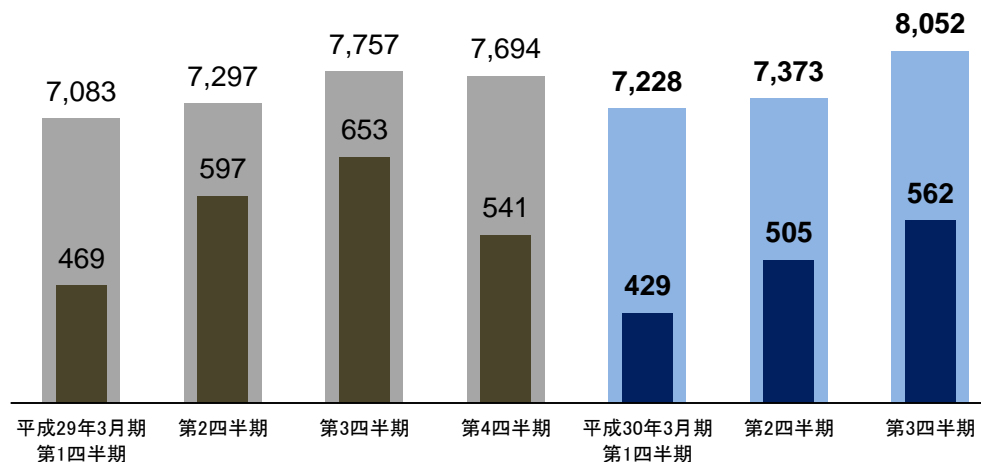
■ 前年同期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



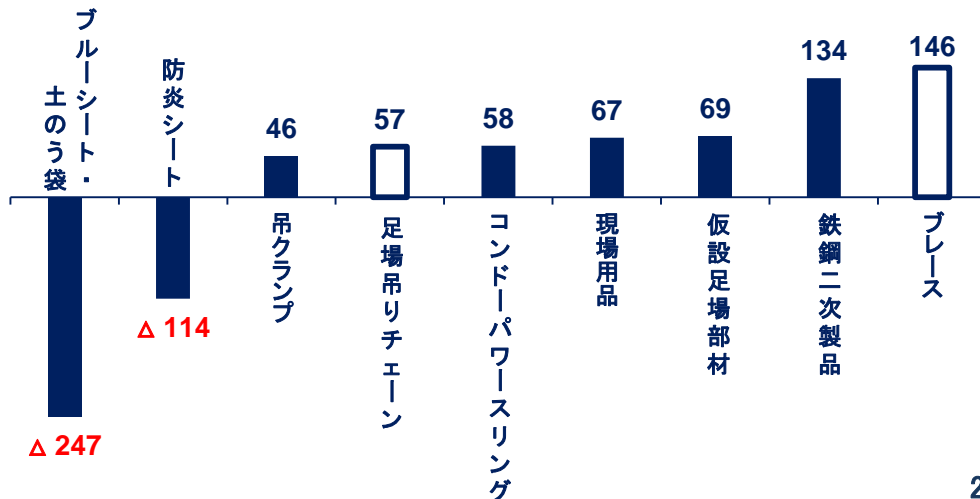
■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前年同期比較

- 製品
- 商品



売上高増減要因

前年同期と比較して、約**520**百万円の増加。

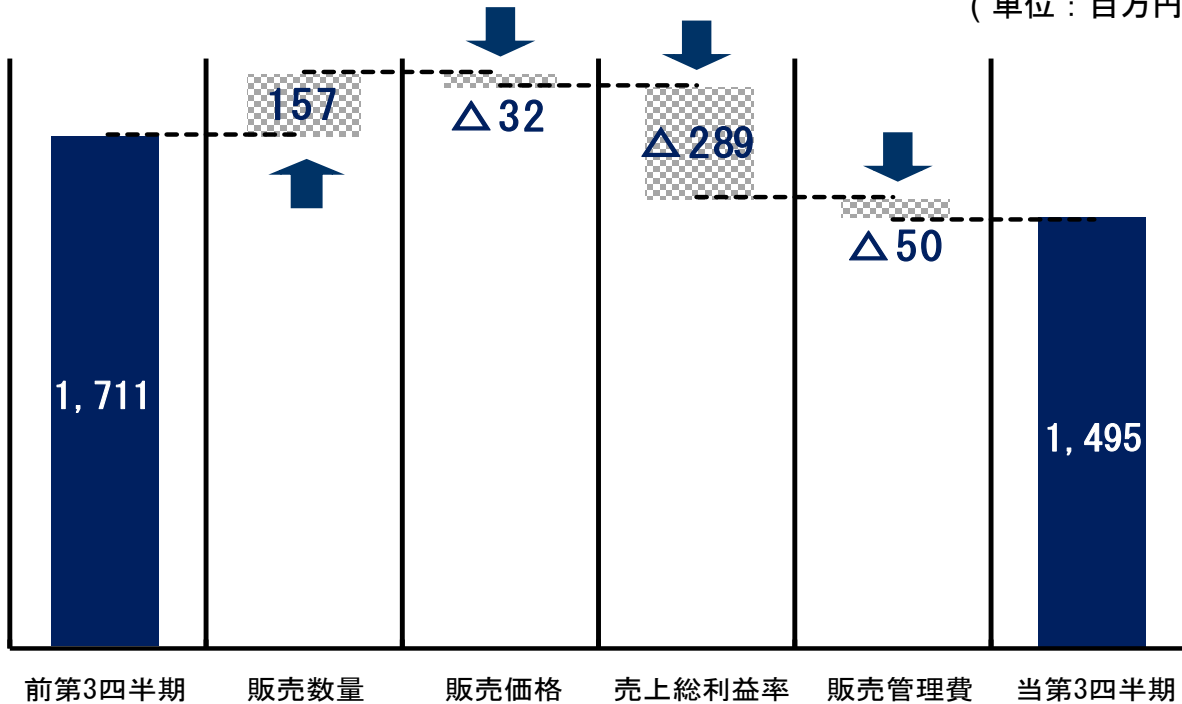
国内建設市場は、民間・公共工事ともに堅調に推移し、建築・土木関連商材であるブレース、鉄鋼二次製品、仮設足場部材、現場用品などが堅調に推移した。

□ 製品 約+230百万円
 - ブレース / +146百万円 物件の増加による受注増

□ 商品 約+290百万円
 - 鉄鋼二次製品 / +134百万円 受注好調による売上増

セグメント利益又は損失 差異分析

(単位：百万円)

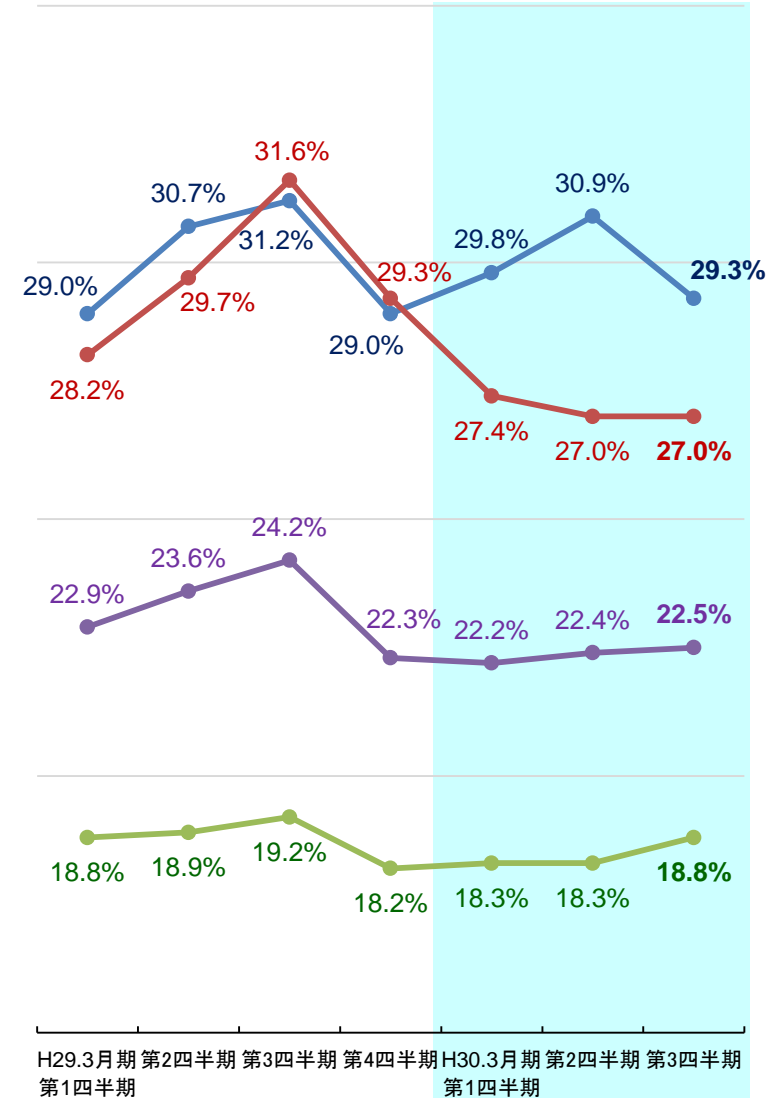


販売数量	製品 +49百万円、商品 +108百万円
販売価格	製品 +10百万円、商品 △43百万円
売上総利益率	製品 30.4% → 30.0% 商品 22.6% → 21.1% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +27百万円、修繕費 +13百万円

※差異分析及び四半期別利益率推移には、タイ現地法人および中央技研(株)は加味されておりません。

売上総利益率の四半期別推移

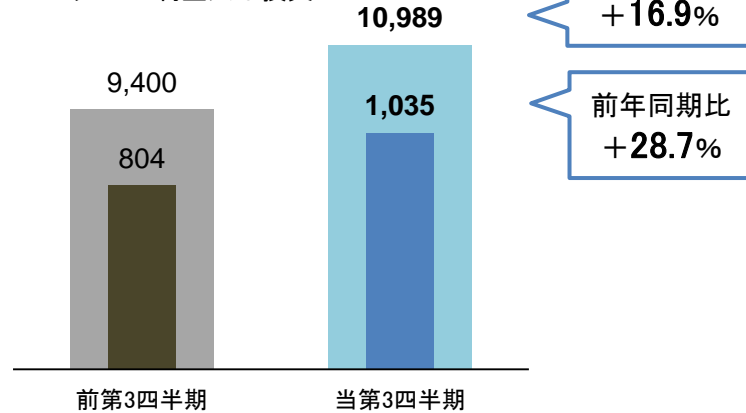
● 製品 ● 輸入品
● 国内仕入商品 ● 製商品合計



売上高・セグメント利益又は損失推移

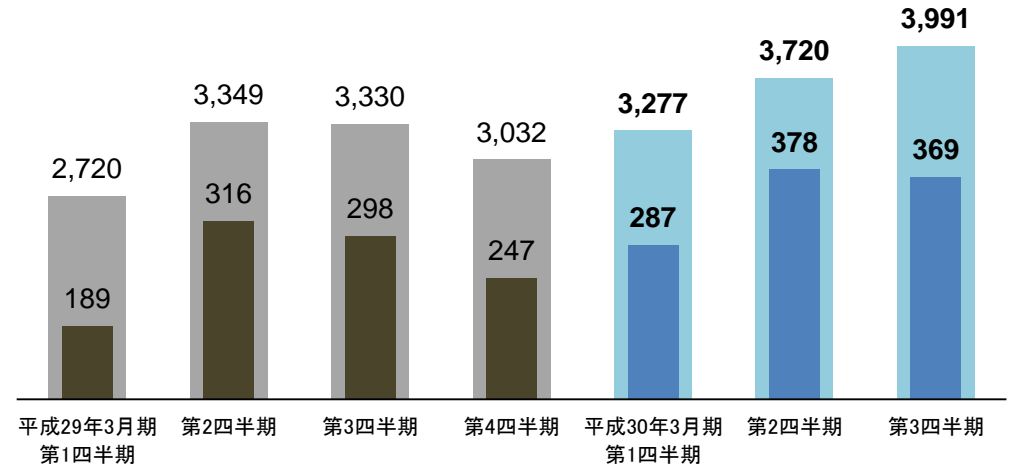
■ 前年同期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



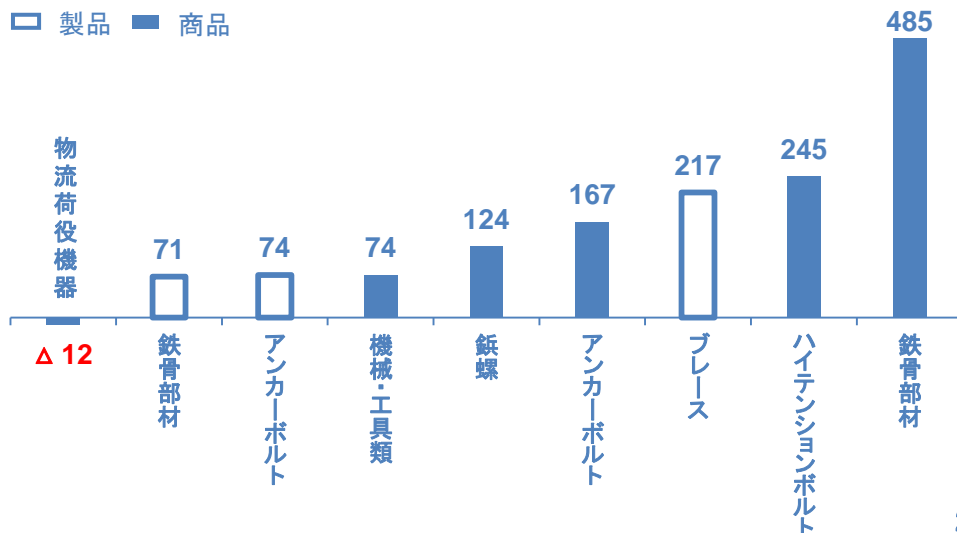
■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前年同期比較

- 製品
- 商品



売上高増減要因

前年同期と比較して、約**1,590**百万円の増加。

鉄骨需要は、インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の需要の増加により、主要商材である鉄骨部材、ハイテンションボルト、ブレース、アンカーボルトなどが堅調に推移した。

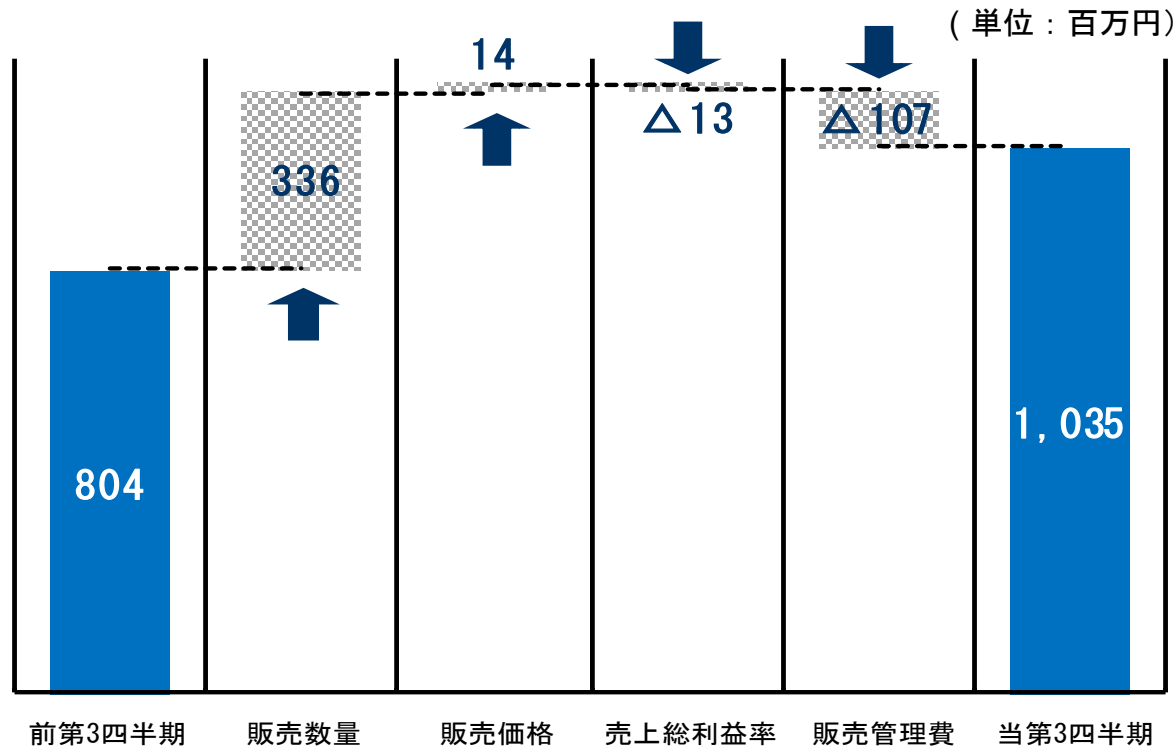
□ 製品 約+360百万円

－ ブレース / +217百万円 店舗・物流倉庫・工場など大型新築工事の需要増

□ 商品 約+1,230百万円

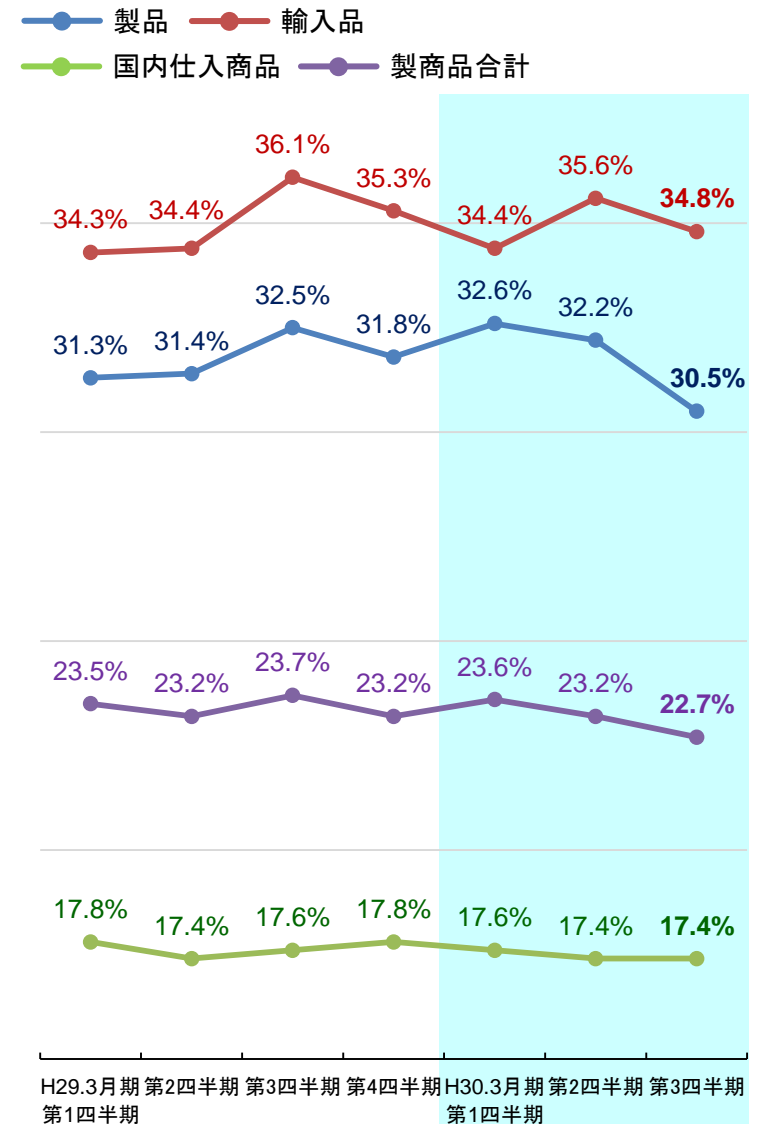
－ 鉄骨部材 / +485百万円 認定柱脚工法品および加工品の受注増

セグメント利益又は損失 差異分析



販売数量	製品 +97百万円、商品 +239百万円
販売価格	製品 +18百万円、商品 △3百万円
売上総利益率	製品 31.7% → 31.7% 商品 19.3% → 19.1% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +58百万円、給与 +13百万円、賞与 +11百万円

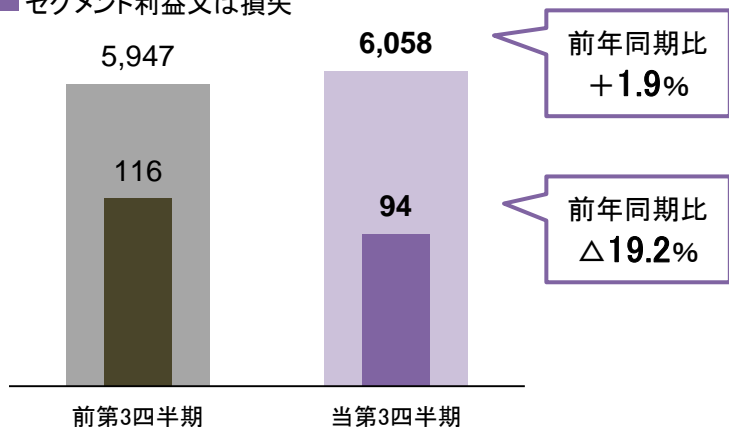
売上総利益率の四半期別推移



売上高・セグメント利益又は損失推移

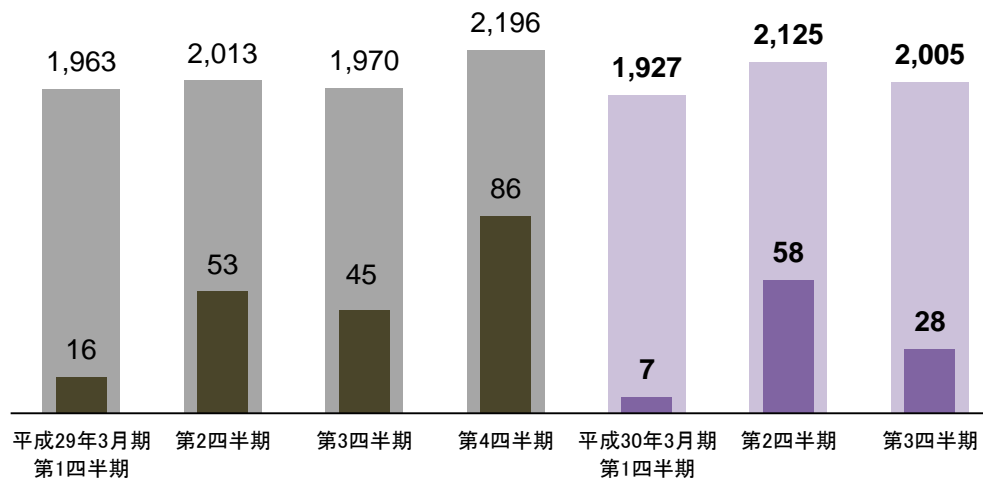
■ 前年同期比較

■ 売上高
■ セグメント利益又は損失

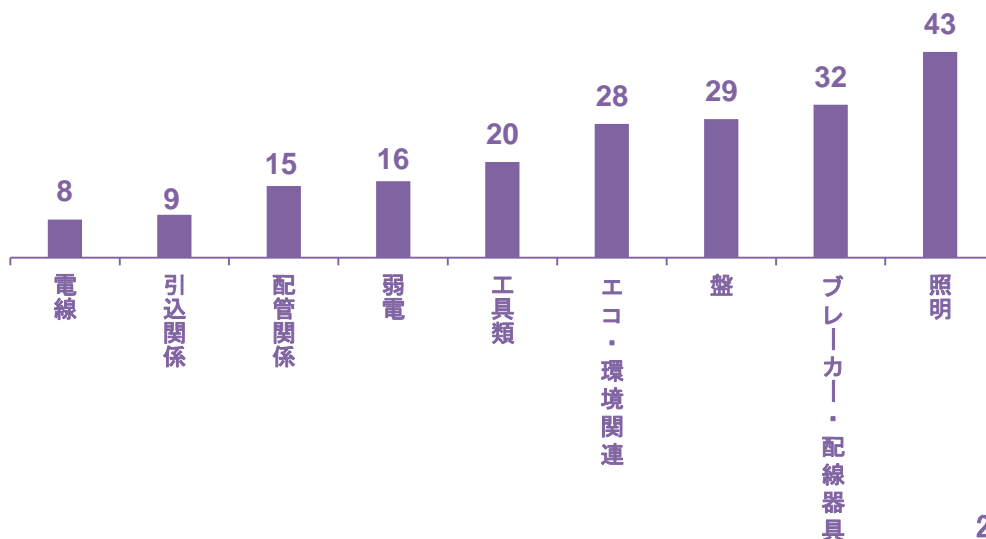


■ 四半期別推移

(単位：百万円)



製商品別売上高増減額 前年同期比較



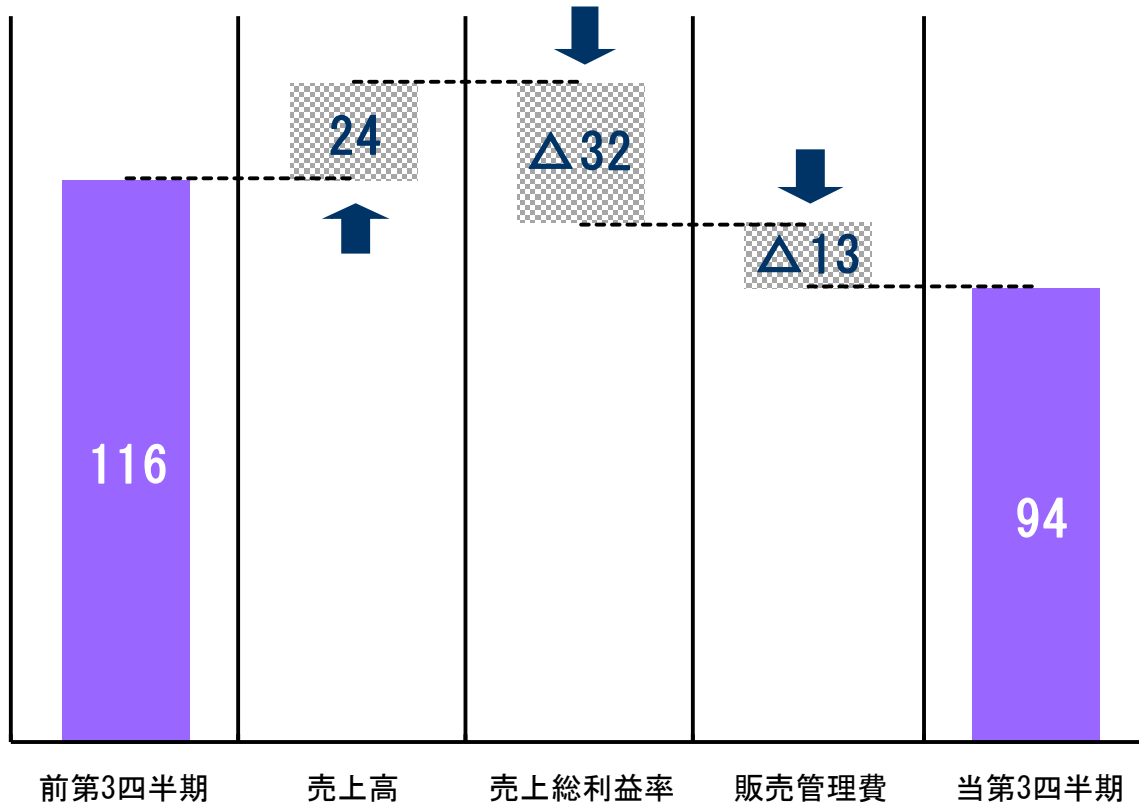
売上高増減要因

前年同期と比較して、約**110**百万円の増加。

- 照明 +43百万円
公共事業関連の大口物件による売上増
- ブレーカー・配線器具 +32百万円
工場・マンション・商業施設等民間建築物の増加による売上増
- 盤 +29百万円
工場物件・太陽光発電所向けキュービクル等の売上増

セグメント利益又は損失 差異分析

(単位：百万円)



売上総利益率

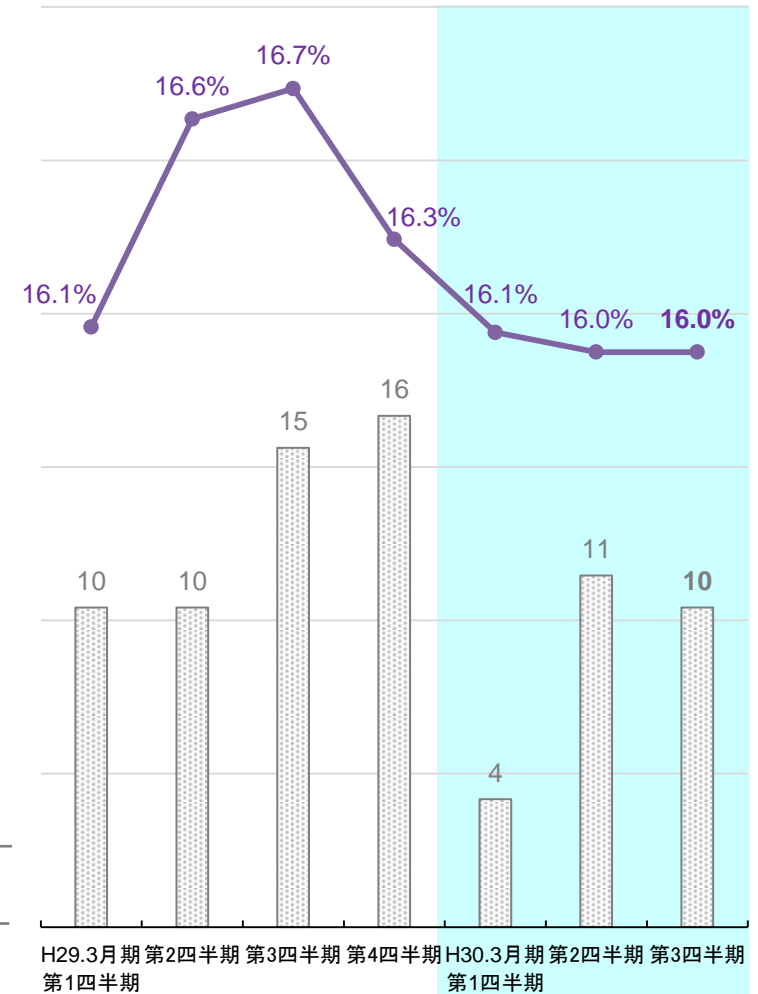
16.5% → 16.0%

販売管理費

販売促進引当金繰入額 +9百万円、販売促進費 +7百万円
給料 +6百万円、募集費 Δ4百万円

売上総利益率の四半期別推移

■ 物件数※(単位：件) ● 売上総利益率



※電気工事屋に対する5百万円超の物件を対象に集計

5.成長戦略

平成29年度建設投資見通し

- 政府投資・・・22兆2,300億円(前年度比5.4%増)
- 民間投資・・・32兆7,300億円(前年度比4.3%増)

※国土交通省、H29.6月発表『平成29年度 建設投資見通し』より



オーガニック成長

①4つの成長戦略

- 販売基盤の拡充
- 新商材の提供
- 売り方の工夫
- 販売ルートの開拓

②自然災害への対応、インフラ整備

③拠点展開

④三和電材(株)の新体制

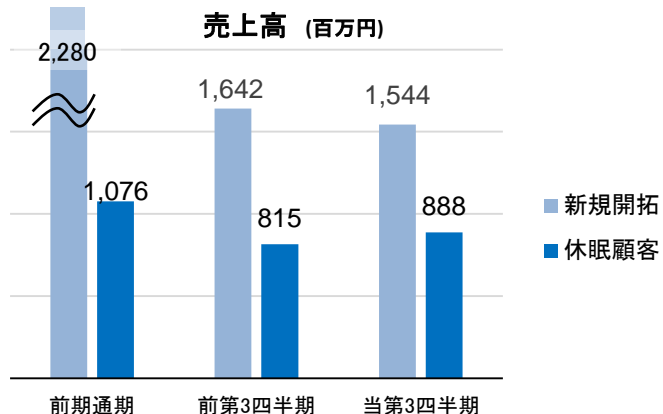
ノンコア事業成長

①海外への取り組み

②M&A戦略

販売基盤の拡充

- 営業担当が毎月1件の**新規販売先を開拓**
- 営業担当が毎年10社の**休眠顧客の掘り起し**を実施



新商材の提供

- 営業部門、製造部門合同の新商材委員会を開催し、新商材開発に積極的に取り組んでおります。

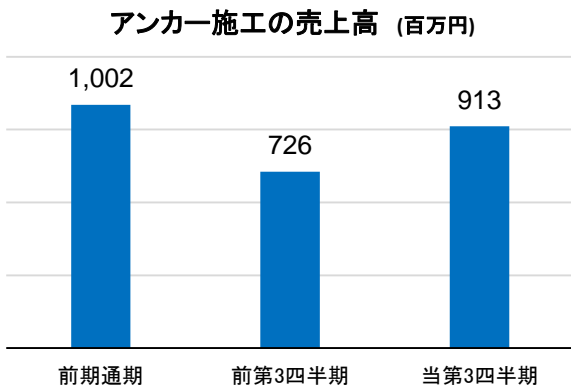
売上高 (百万円)

	前第3四半期	当第3四半期
角フックボルト	110	100
コンベース・エコ	107	97
イエローポイントシリーズ	10	20
アルプス印 鉄滑車	53	48



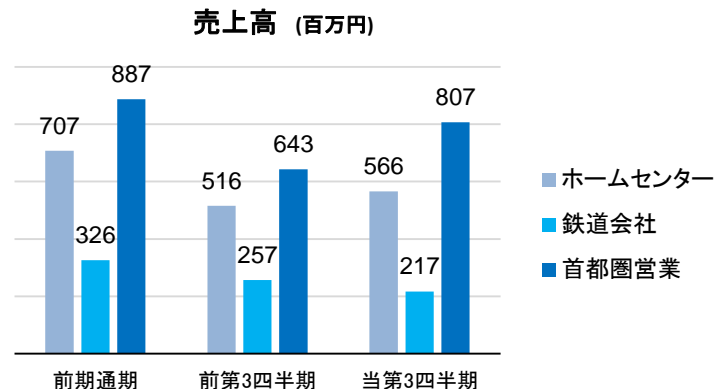
売り方の工夫

- アンカーボルトの納入だけでなく、**施工も実施**、販売領域を開拓
- 吊り具アドバイザー(社内認定資格)を設置、「吊り具」の専門性を高めることで、**サービスの差別化**を図る



販売ルートの開拓

- ホームセンターや鉄道会社など**新業種への事業拡大**
- **首都圏専任担当者を設置**し、集中購買に対応、受注を獲得



熊本地震および東日本大震災関連資材の売上高(単体)推移

(単位:百万円)

	売上高							
	東日本大震災					熊本地震		合計
	H24/3月期 通期	H25/3月期 通期	H26/3月期 通期	H27/3月期 通期	H28/3月期 通期	H29/3月期 通期	H30/3月期 第3四半期	
ブレース	200	18	87	153	202	—	—	662
トラ網セット	126	—	—	—	—	—	—	126
コンテナバッグ	281	263	316	308	293	33	12	1,509
ブルーシート	152	153	203	254	266	46	0	1,076
土のう袋	52	51	79	108	146	6	0	443
その他	239	187	200	307	380	68	35	1,419
合計	1,053	674	887	1,132	1,288	154	48	5,238

※平成29年3月期より、熊本地震関連資材の売上高集計に切換え

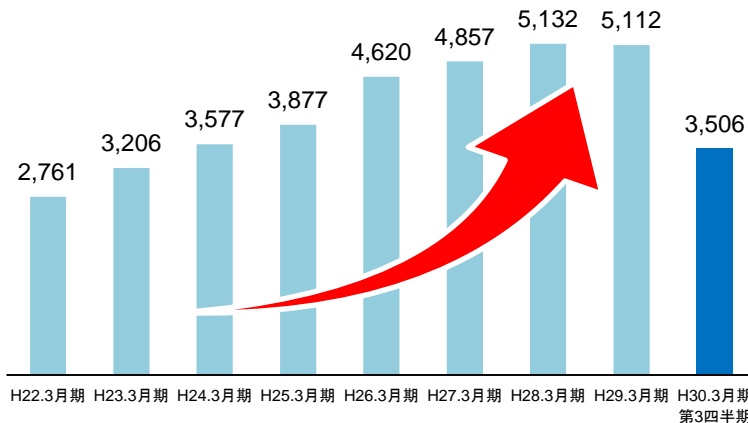
がれき・除染土の収納されたコンテナバッグ仮置場の様子



異常気象(大雨など)関連資材の売上高(単体)推移

今後も大雨などによる被害が拡大する恐れがあるため、さらなる需要の伸びが予想されます。

(単位:百万円)



建設資材4商材

ブルーシート・
土のう袋類



防災シート類



コンテナバッグ



ネット・
シート類



当社では、各営業拠点に震災や異常気象などの災害の現場で使用される資材を、在庫として備えております。
また、被災地域の早期復興を願い、インフラ整備にも注力してまいります。

- 平成27年7月に盛岡営業所、平成28年1月に長野営業所、平成28年4月に熊本営業所を開設いたしました。
今後とも、お客様のニーズに迅速に対応すべく地域に密着した販売体制を整え、クイックデリバリーで顧客重視の経営を実現してまいります。
- また、平成29年3月には業務の充実によりお客様への一層のご便宜を図るために、静岡営業所および東海営業所を移転し、新たに業務を開始いたしました。

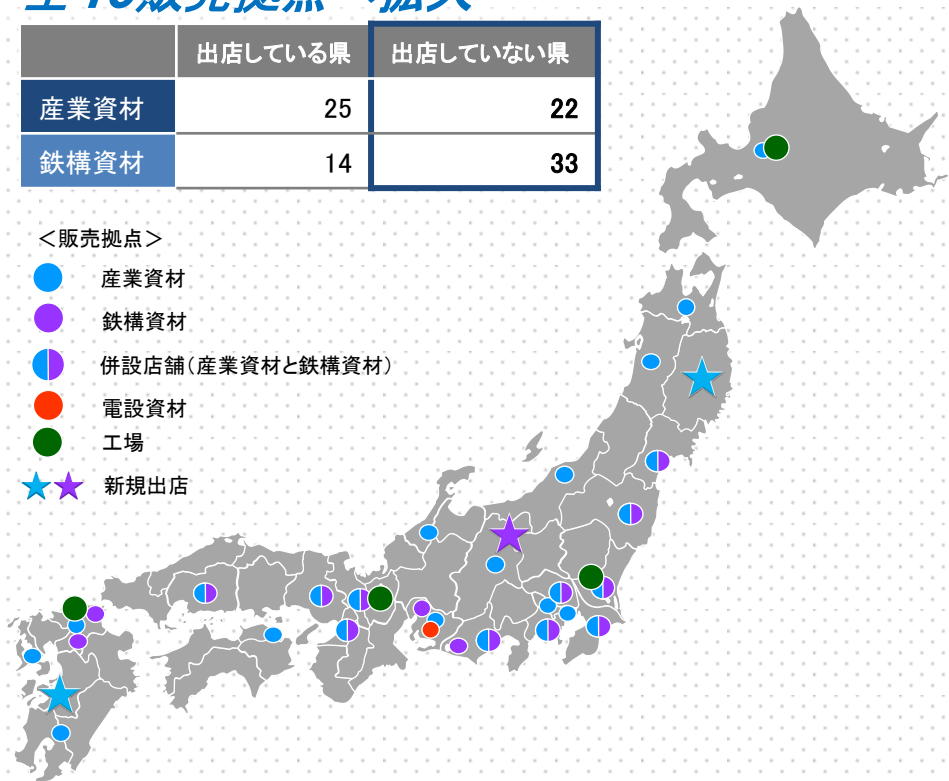
NEW 平成29年7月において、インターネットを通じた販売形態を模索するため、eコマースグループを新設いたしました。

全46販売拠点へ拡大

	出店している県	出店していない県
産業資材	25	22
鉄構資材	14	33

<販売拠点>

- 産業資材
- 鉄構資材
- 併設店舗(産業資材と鉄構資材)
- 電設資材
- 工場
- ★ ★ 新規出店



新規出店

平成27年7月 盛岡営業所



平成28年1月 長野営業所



平成28年4月 熊本営業所



平成18年 秋田営業所
福島営業所

平成23年 東日本大震災

平成24年 東北営業所

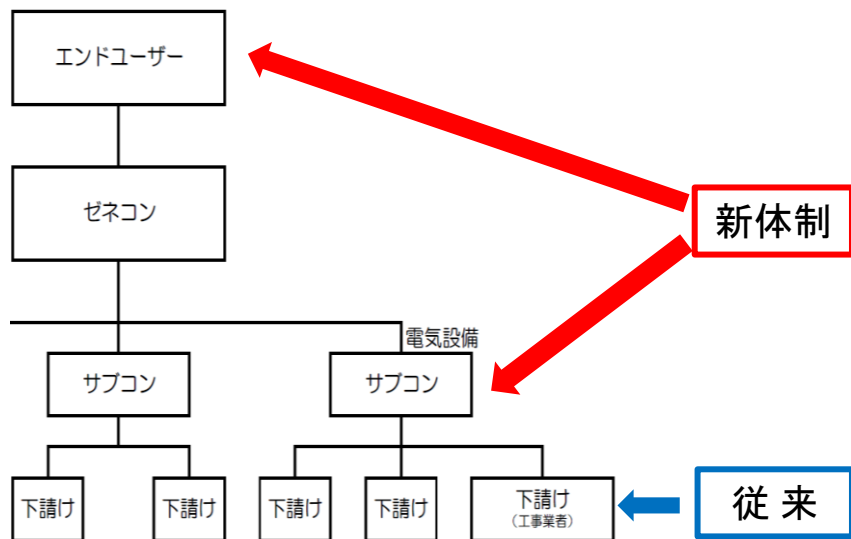
平成29年3月
<移転>
静岡営業所および東海営業所



三和電材(株) 新たな取組みを開始 ～売上高100億円企業を目指して～

- 当社の関係会社である三和電材(株)が平成28年4月より、2020年以降も確実に成長することを目的に経営基盤の強化を図るため、新体制を開始いたしました。

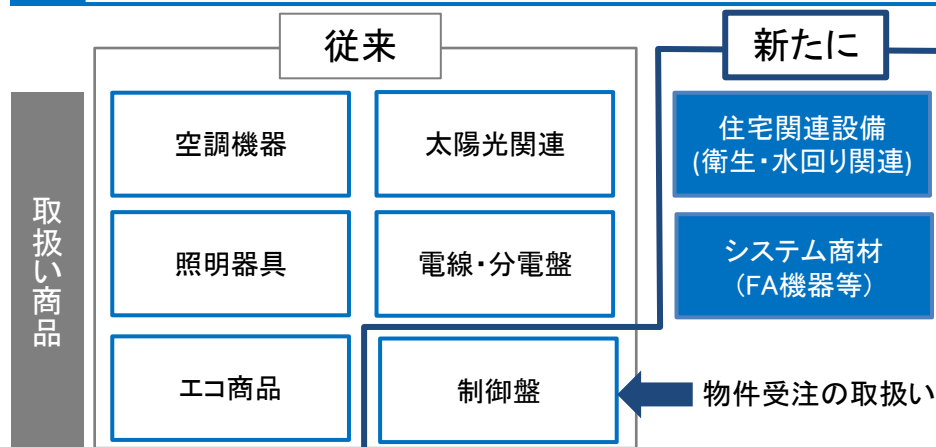
1 直需事業の強化、工事機能の組織化



- 新たに電設営業所を新設、商材の卸しだけでなく、**工事機能を組織化**
- ハウスメーカー、エンドユーザーへの**直需事業機能の推進**

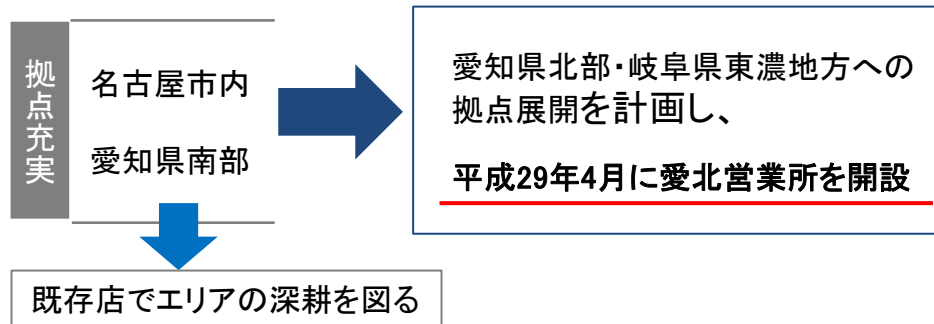
→ 受注拡大を目指す

2 取扱い商品の拡充



3 販売エリアの拡大

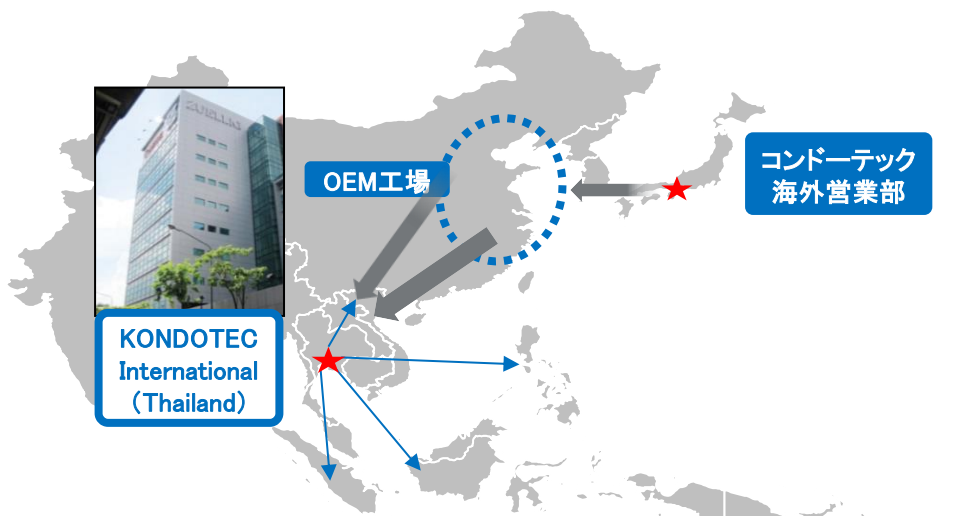
- 電設卸売事業の拡大に向け、営業展開が手薄であり基盤固めに必要となるエリアに新規営業所の設置を計画。



タイ現地法人の設立・子会社化

- 経済発展が著しいタイ、インドネシア、ベトナムといったASEAN諸国との海外取引（建設資材等の新規需要への取り組み）を強化すべく、平成24年11月、タイ現地法人を設立いたしました。
- 平成26年8月、タイ現地法人の増資を行い増資後、共同出資会社2社より全所有株式を取得し、実質的に当社の完全子会社といたしました。事業拡大に向けた財務基盤の強化を図り、さらなる輸出強化の布石といたします。

タイ現地法人の会社概要



商号	KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.
本社所在地	タイ・バンコク市内
事業内容	タイにおける産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入と現地国内販売
資本金	102百万パーツ（約316百万円） ※4百万パーツから増資
設立年月日	平成24年11月1日

平成30年3月期第3四半期の状況

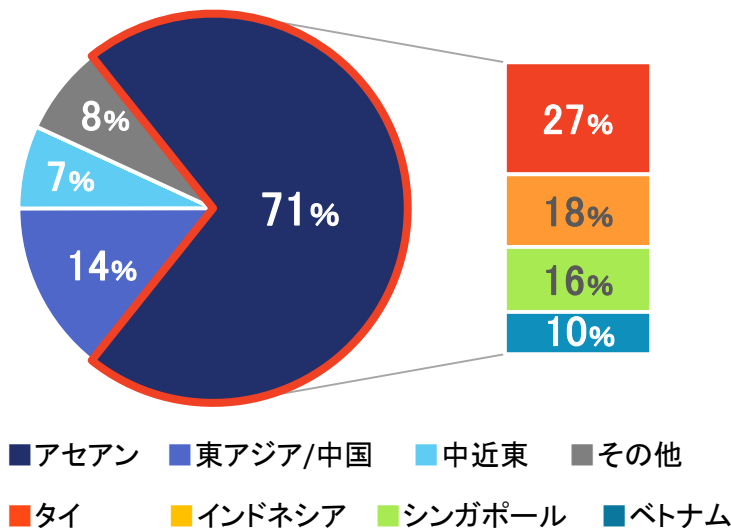
【海外売上高】

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	計画
海外営業部	62	40	84
タイ現地法人	173	149	400
合計	235	189	484

※グループ間取引金額は含まれておりません。

【国別海外売上比率】



船舶造船、運送、陸海荷役、
製造生産設備、漁業、養殖、農業等

隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる
企業をM&Aし、事業の拡大を図る

建築物・構造物を支える部材の強化

事業の深掘り

部材メーカー等をM&Aし、
コンドーテックの既存事業を深掘りしていく

M&A戦略

事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、
海外のお客様の獲得を目指す

販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売といった
コンドーテックとは異なる販売形態を取る企業
への積極的なM&Aを進めていく

ASEAN本格展開
【タイ、インドネシア】

販売経路の拡大、ネット事業の進出

様々な成長戦略に着手し、**売上高 1,000億円** を目指す！

(単位：億円)

事業戦略室

- 平成28年10月1日におきまして、既存コア事業の更なる拡大と建築資材以外の周辺業界への事業展開を推し進め、企業価値向上を実現するため、新たなステージとして取締役会直轄の事業戦略室を新設いたしました。
- 10年先、20年先を見据え、当社が将来にわたって持続的に発展し続けるために、新たな取り組みに踏み出し、展開を図ってまいります。

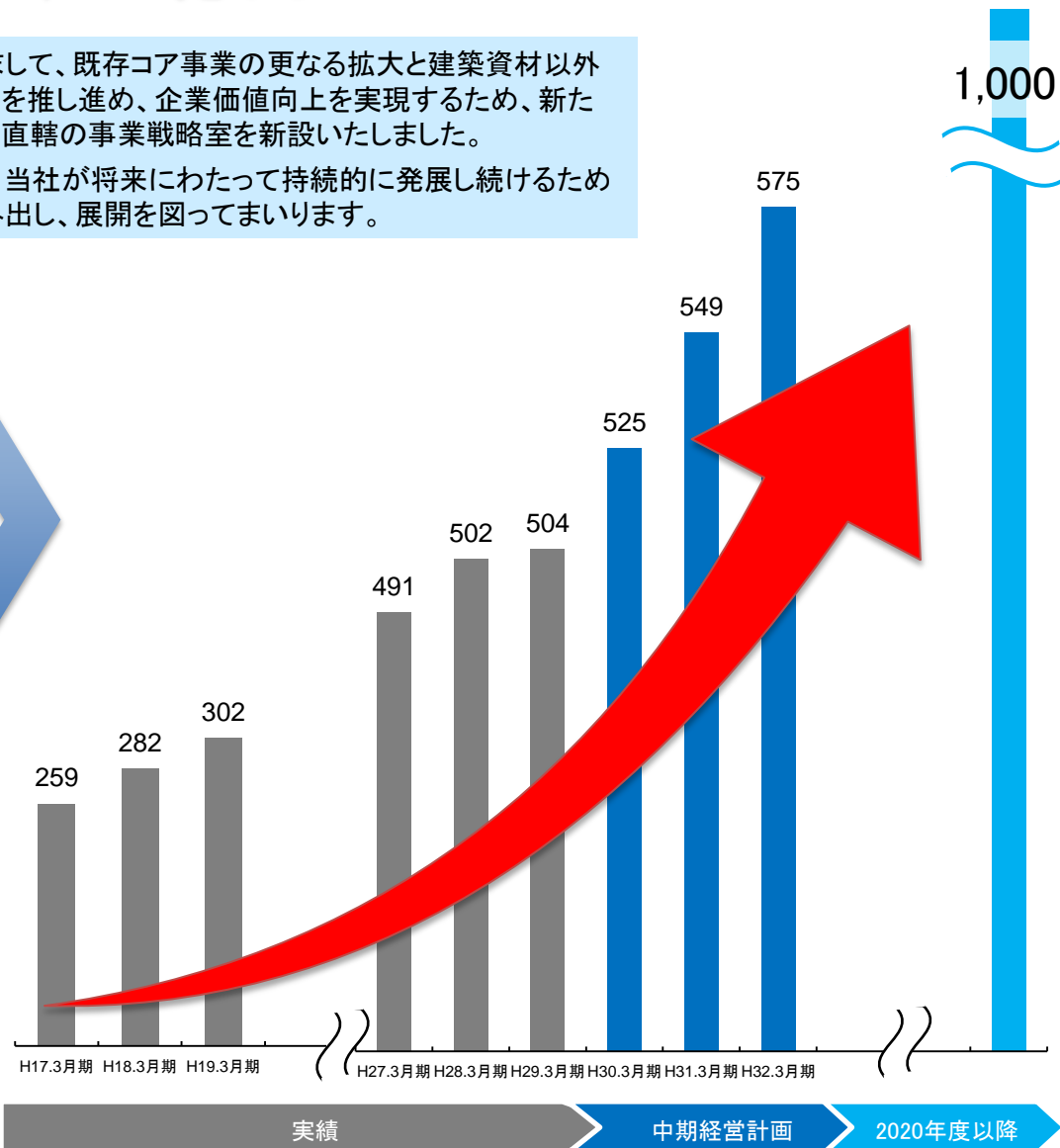
オーガニック成長

- 自然災害への対応
- インフラ整備
- アンカー施工
- 首都圏営業
- 新規・休眠顧客開拓
- 鉄道事業
- 店舗展開
- 新商材提供

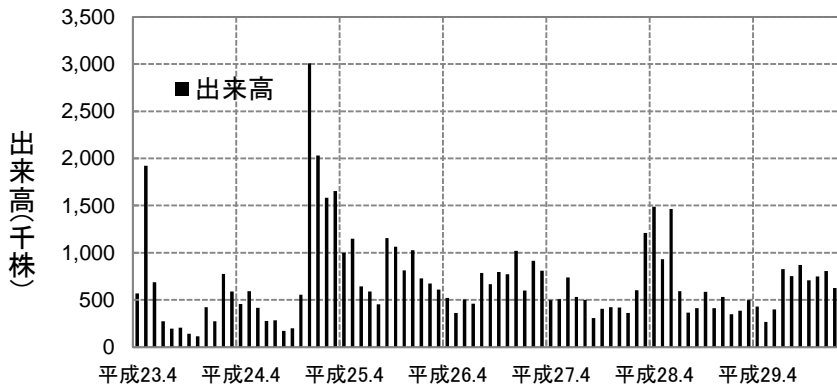
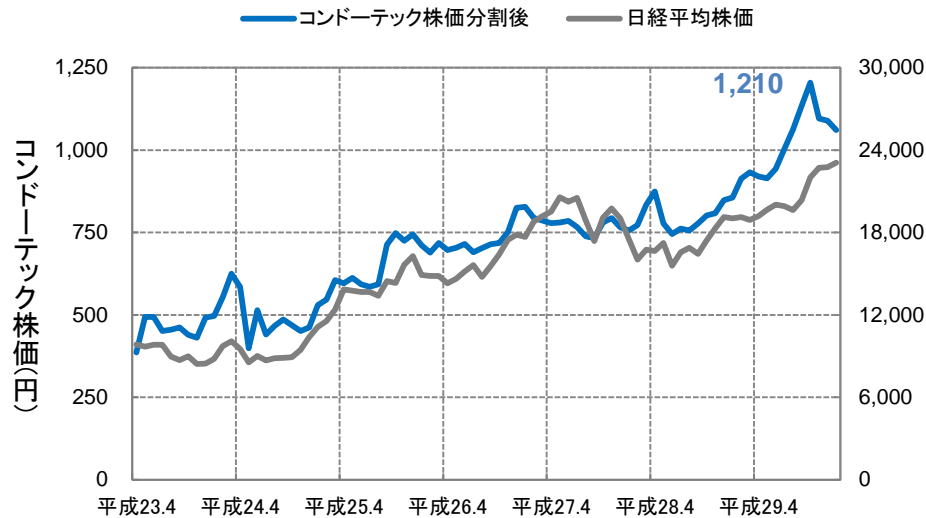
ノンコア事業成長

M & A

海外事業



6.株主還元



※平成24年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、株価、出来高は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の終値を表記しております。
 ※平成24年12月に公募増資、第三者割当増資を行っております。

当社の上場企業におけるランキング順位

2017年9月29日終値 1,135円 上場企業3,677社中...

時価総額	純資産
1,481位	1,518位
経常利益額	当期純利益額
1,219位	1,198位
PBR	PER
1,790位	2,610位
ROE	
1,097位	

当社の時価総額は、31,700百万円

仮に当期純利益の順位が企業価値(時価総額)を表す物差しとすると、時価総額1,198位の時価総額は、48,100百万円。その場合当社株価は、1,722円となります。

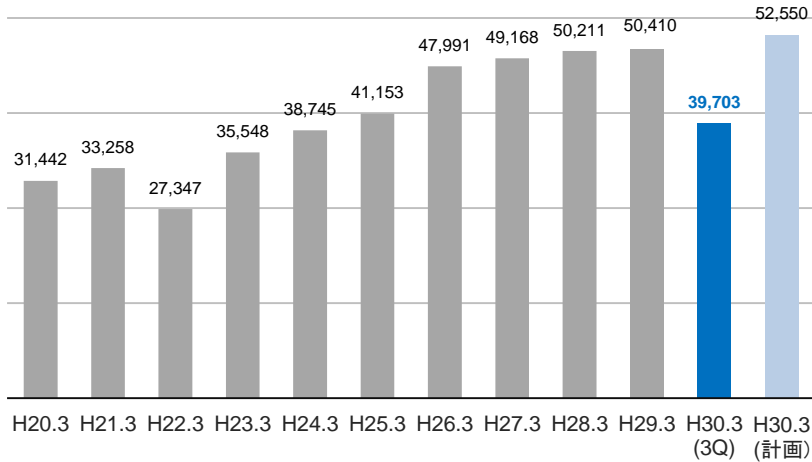
※データはみずほ証券資料を参照。ランキングは、2017年9月30日時点のもの。

1月31日終値 1,061円
 PER: 11.2 PBR: 1.25

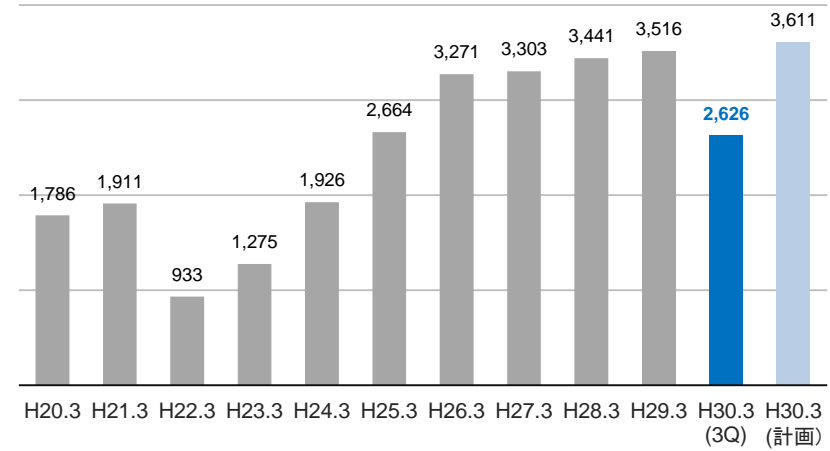
EPS: 94.33円(H30.3期予想)
 BPS: 846.59円(H29.3末)で計算

7.ご参考 ～業績ハイライト～

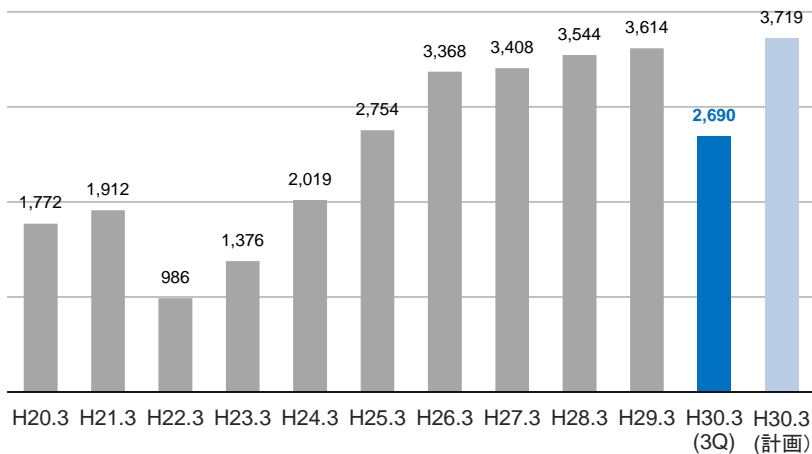
売上高 (百万円) **39,703** 百万円 計画進捗率
75.6%



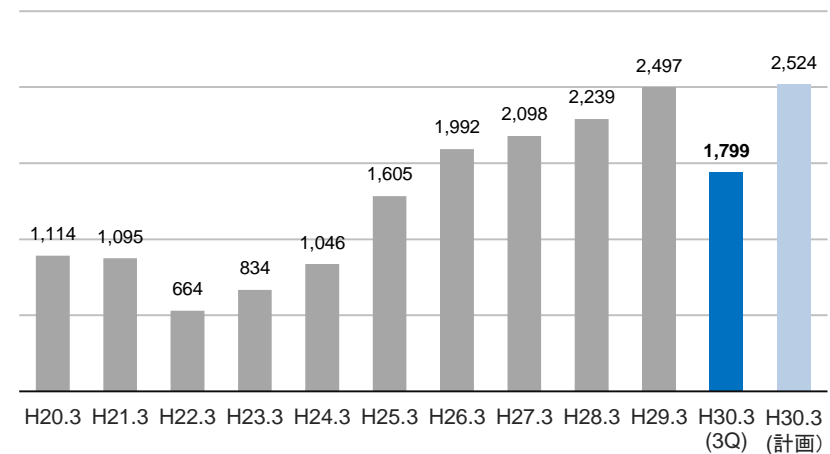
営業利益 (百万円) **2,626** 百万円 計画進捗率
72.7%



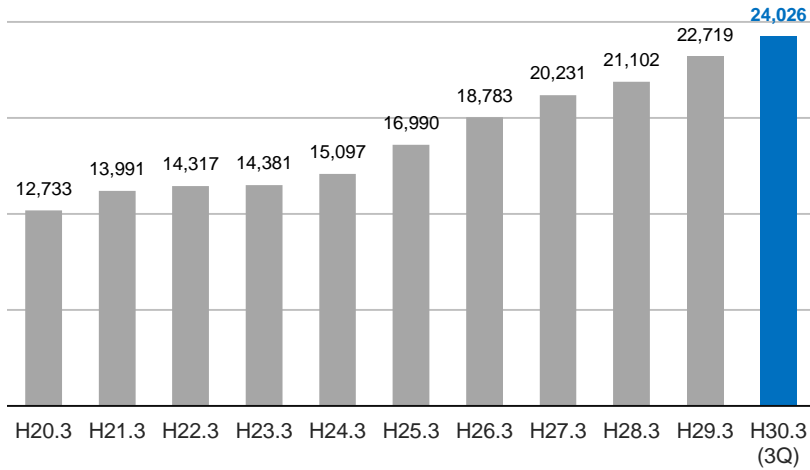
経常利益 (百万円) **2,690** 百万円 計画進捗率
72.3%



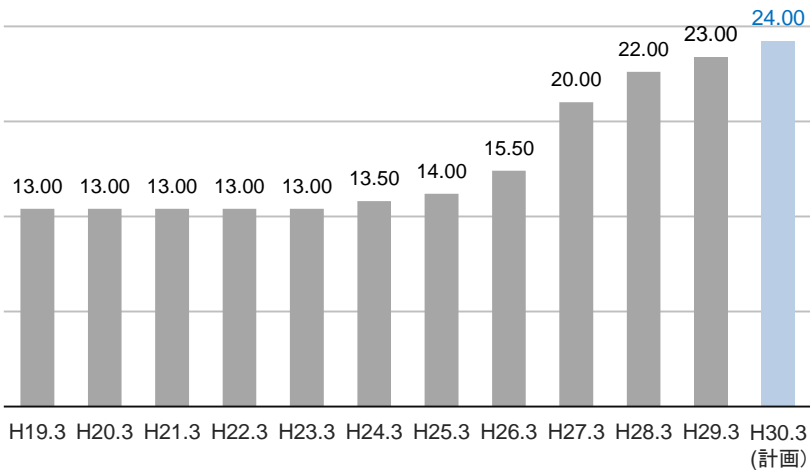
親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円) **1,799** 百万円 計画進捗率
71.3%



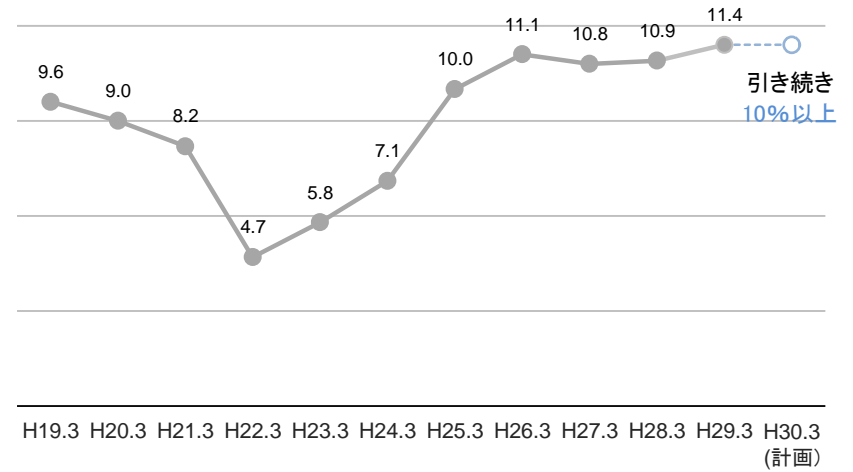
純資産 (百万円) **24,026** 百万円



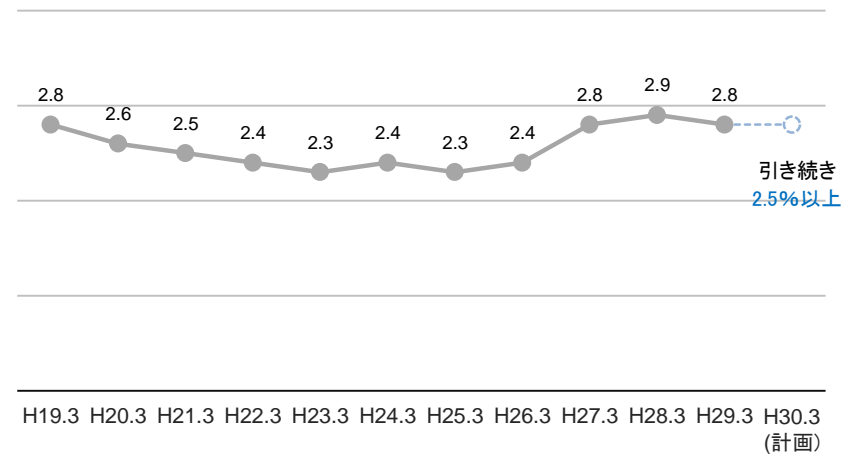
配当金 (円) **24.0** 円 を予定



ROE (%) **目標 10** %以上



DOE (%) **目標 2.5** %以上



(単位:百万円)

	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3 3Q	H30.3 (計画)
経営成績												
売上高	31,442	33,258	27,347	35,548	38,745	41,153	47,991	49,168	50,211	50,410	39,703	52,550
営業利益	1,786	1,911	933	1,275	1,926	2,664	3,271	3,303	3,441	3,516	2,626	3,611
経常利益	1,772	1,912	986	1,376	2,019	2,754	3,368	3,408	3,544	3,614	2,690	3,719
親会社株主に帰属する当期純利益	1,114	1,095	664	834	1,046	1,605	1,992	2,098	2,239	2,497	1,799	2,524
設備投資額	906	132	632	240	180	566	679	403	842	695	-	-
減価償却費	411	430	380	457	428	390	418	449	405	438	-	-
財政状態												
総資産	23,608	24,667	23,616	26,194	28,403	31,192	34,481	35,186	34,645	36,524	38,198	-
純資産	12,733	13,991	14,317	14,381	15,097	16,990	18,783	20,231	21,102	22,719	24,026	-
有利子負債	-	-	-	900	705	808	806	636	508	501	-	-
キャッシュ・フロー												
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405	2,196	1,109	1,219	1,454	2,077	1,887	1,818	1,945	2,737	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 642	△ 391	△ 1,437	△ 320	△ 1,511	△ 494	△ 660	828	△ 829	△ 646	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 326	△ 115	△ 336	△ 736	△ 550	426	△ 389	△ 699	△ 1,092	△ 1,032	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,208	3,898	3,234	3,396	2,790	4,798	5,636	7,626	7,594	8,660	8,910	-
1株当たり情報 (円) *												
1株当たり当期純利益金額	44.36	42.88	25.62	32.19	40.36	60.77	72.13	75.91	81.01	93.29	67.20	94.30
1株当たり純資産	506.86	539.73	552.30	554.79	582.41	615.12	679.27	730.49	774.18	846.59	-	-
1株当たり配当額	13.00	13.00	13.00	13.00	13.50	14.00	15.50	20.00	22.00	23.00	-	24.00
財務指標												
売上高営業利益率 (%)	5.7	5.7	3.4	3.6	5.0	6.5	6.8	6.7	6.9	7.0	6.6	6.9
ROE (%)	9.0	8.2	4.7	5.8	7.1	10.0	11.1	10.8	10.9	11.4	-	10%以上
自己資本比率 (%)	53.9	56.7	60.6	54.9	53.2	54.5	54.4	57.4	60.8	62.1	62.8	-
DOE (%)	2.6	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3	2.4	2.8	2.9	2.8	-	2.5%以上
株価指標												
期末株価終値 (円)	306	285	308	353	625	606	718	786	834	933	1,089	-
株価収益率 (倍)	6.9	6.6	12.0	11.0	15.5	10.0	10.0	10.4	10.3	10.0	-	-

* 平成24年1月1日付の株式分割(1株を2株に分割)については、平成20年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し表示しております。

見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。
それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06 (6582) 8441 (代表) FAX : 06 (6582) 8410

ホームページ : <http://www.kondotec.co.jp>

E-mail : kikaku@kondotec.co.jp (総務部)